

## 2. 調査結果の概要

### ■ 公共施設の利用状況について

- ・ 全体的に「利用なし」が多くなっており、13 分類中 9 分類で 50%以上となっています。特に子育て支援施設は 89.6%と最も高く、次いで産業振興施設（83.8%）、生涯学習施設（80.0%）の順に高くなっています。
- ・ 「利用なし」以外の利用頻度では、「年数回程度」が多くなっており、行政施設は 74.0%、次いで、保養観光施設（45.0%）、直売施設（44.7%）となっています。
- ・ また、コミュニティ施設、直売施設、保養観光施設、図書館は「月一回以上」が 1 割以上となっています。
- ・ 「利用なし」と回答された施設については、全体的に「利用する必要がない」が高くなっており、すべての施設で 7 割以上となっています。
- ・ 「利用なし」と回答された施設のうち、生涯学習施設、産業振興施設、直売施設、保養観光施設、保健福祉施設では「建物の存在やサービスを知らない」が 1～2 割となっています。
- ・ 「利用なし」と回答された施設のうち、直売施設、保養観光施設、図書館では「自宅から遠い」が 1 割以上となっています。

### ■ 公共施設等が抱える課題に対する関心度について

- ・ 公共施設やインフラ施設の課題については 7 割が関心を持っており、「強く関心を持っている」が 15.8%、「関心を持っている」が 52.0%となっています。
- ・ 一方、「あまり関心を持っていない」は 28.8%、「まったく関心を持っていない」は 2.6%となっています。

### ■ 公共施設の削減への意向について

- ・ 公共施設の施設数(延床面積)の削減については 8 割が賛成しており、「積極的に進めるべき」が 28.7%、「進めた方がいい」が 53.0%と高くなっています。
- ・ 一方、「公共施設はまだ不足しているので進めるべきではない」は 8.6%、「既存の公共施設はすべて必要なので、維持・更新すべき」は 7.9%となっています。

### ■ 統廃合や適正化を優先して進めるべき施設の意向について

- ・ 公共施設の統廃合や適正化を優先的に検討する施設は、「利用率や稼働率が低い(あまり利用されていない)施設」が 76.8%と最も高くなっています。次いで、「老朽化が著しい施設」が 60.5%、「同じような施設の代わりに使用できる施設が近隣にある施設」が 49.3%と高くなっています。
- ・ 一方、「民間でも同じこと(事業)を行っている施設」が 18.2%と最も低くなっています。

#### ■ 統廃合等による不利益に対する意向について

- ・ 公共施設の統廃合による不利益については、「ある程度受け入れられる」が66.6%と最も高くなっており、次いで「受け入れられる」が26.5%となっています。
- ・ 一方「受け入れられない」は5.4%となっています。

#### ■ 公共施設の運営コスト削減のために優先的に進める財源確保策について

- ・ 公共施設について今後優先すべき施策について、「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計では「使われていない施設の売却・貸付で収入を得る」が93.5%と最も高く、次いで「施設総量を減らす」(84.2%)、「現在ある施設を計画的に回収し、長く使用する」(81.6%)の順で高くなっています。
- ・ 一方「実施すべきでない」、「どちらかといえば実施すべきでない」の合計では、「税のように、施設の維持や建替えの経費を市民全体で負担する」が70.3%と最も高く、次いで、「各施設の必要な経費に見合うよう、使用料を引き上げて、利用者が負担する」が55.6%となっています。

#### ■ インフラ施設の運営コスト削減のために優先的に進める財源確保策について

- ・ インフラ施設について今後優先すべき施策について、「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計では、「現在ある施設を計画的に改修し、長く使用する」が87.2%と最も高く、次いで「近隣の自治体と共同で施設建設や維持管理・運営を行う」(82.5%)、「整備時に高コストであっても、長持ちする材料を使う」(79.6%)の順で高くなっています。
- ・ 一方「実施すべきでない」「どちらかといえば実施すべきでない」の合計では、「税のように、施設の維持や建替えの経費を市民全体で負担する」が61.7%となっています。

#### ■ 今後、優先して維持・充実していくべき公共施設について

- ・ 「優先的に維持・充実すべき施設」としては、「医療施設」が432件(49.8%)と最も高く、次いで、「子育て支援施設」(343件(39.5%))、「保育園」(259件(29.8%))の順で高くなっています。
- ・ 一方「生涯学習施設」と「市営住宅」は両方とも48件(5.5%)となっています。

### 3. 集計結果

#### 3-1 単純集計結果

問1. あなた自身のことについて教えてください。(各設問に回答は1つ)

- ・回答者の性別は、女性の割合が 55.2%と男性より高くなっています。
- ・回答者の年齢は、60～69 歳が 33.9%と最も高くなっています。
- ・回答者の職業は、会社員・公務員が 39.3%と最も高くなっています。
- ・回答者の交通手段は、自家用車が 89.1%と最も高くなっています。

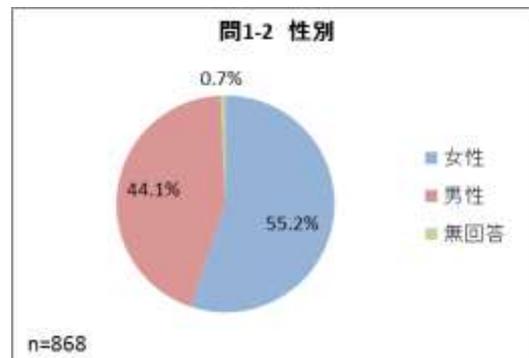
##### ①居住地

問1-1 居住地	件数	割合(%)
酒田地域①	510	58.8%
酒田地域②	109	12.6%
酒田地域③	134	15.4%
酒田地域④	0	0.0%
八幡地域	51	5.9%
松山地域	29	3.3%
平田地域	28	3.2%
無回答	7	0.8%
合計	868	100.0%



##### ②性別

問1-2 性別	件数	割合(%)
女性	479	55.2%
男性	383	44.1%
無回答	6	0.7%
合計	868	100.0%



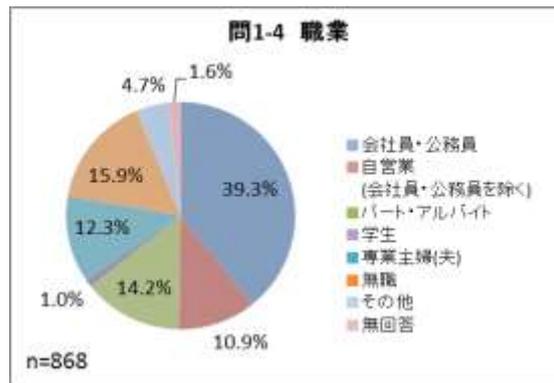
##### ③年齢

問1-3 年齢	件数	割合(%)
18～29歳	67	7.7%
30～39歳	102	11.8%
40～49歳	163	18.8%
50～59歳	206	23.7%
60～69歳	294	33.9%
70歳以上	33	3.8%
無回答	3	0.3%
合計	868	100.0%



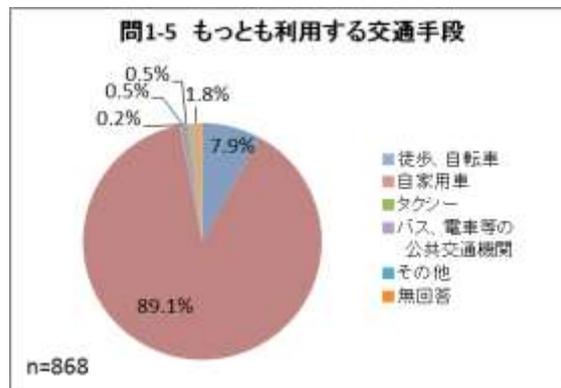
④職業

問1-4 職業	件数	割合(%)
会社員・公務員	341	39.3%
自営業者(会社員・公務員を除く)	95	10.9%
パート・アルバイト	123	14.2%
学生	9	1.0%
専業主婦(夫)	107	12.3%
無職	138	15.9%
その他	41	4.7%
無回答	14	1.6%
合計	868	100.0%



⑤もっとも利用する交通手段

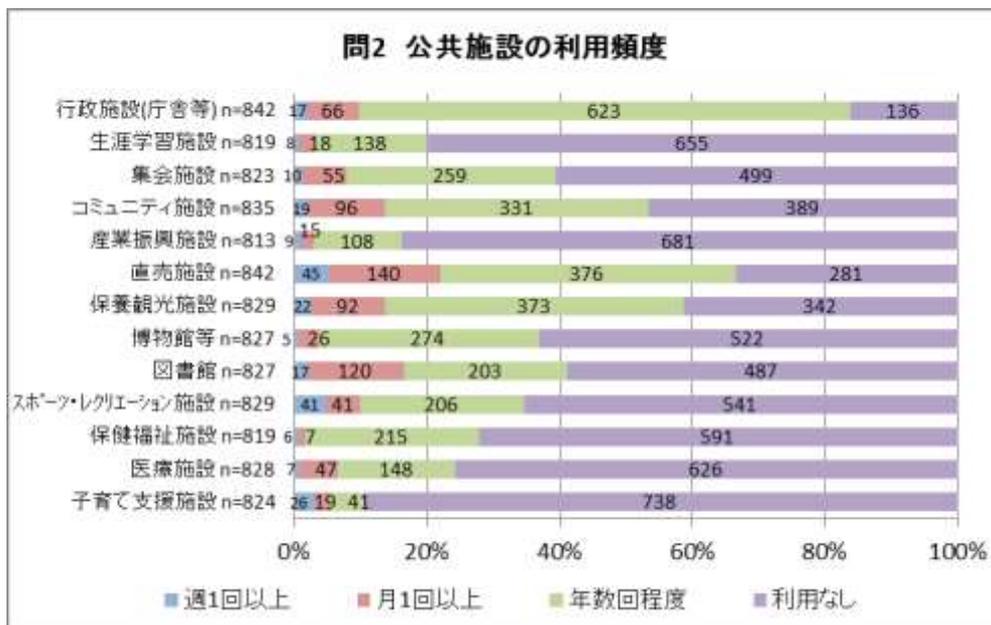
問1-5 もっとも利用する交通手段	件数	割合(%)
徒歩、自転車	69	7.9%
自家用車	773	89.1%
タクシー	2	0.2%
バス(デマンドタクシー含む)、電車等の公共交通機関	4	0.5%
その他	4	0.5%
無回答	16	1.8%
合計	868	100.0%



問2. この1年間で酒田市の公共施設をどの程度利用しましたか。(施設ごとに回答は1つ)

- 全体的に「利用なし」が多くなっており、13分類中9分類で50%以上となっています。特に子育て支援施設は89.6%と最も高く、次いで産業振興施設(83.8%)、生涯学習施設(80.0%)の順に高くなっています。
- 「利用なし」以外の利用頻度では、「年数回程度」が多くなっており、行政施設は74.0%、次いで、保養観光施設(45.0%)、直売施設(44.7%)となっています。
- また、コミュニティ施設、直売施設、保養観光施設、図書館は「月一回以上」が1割以上となっています。

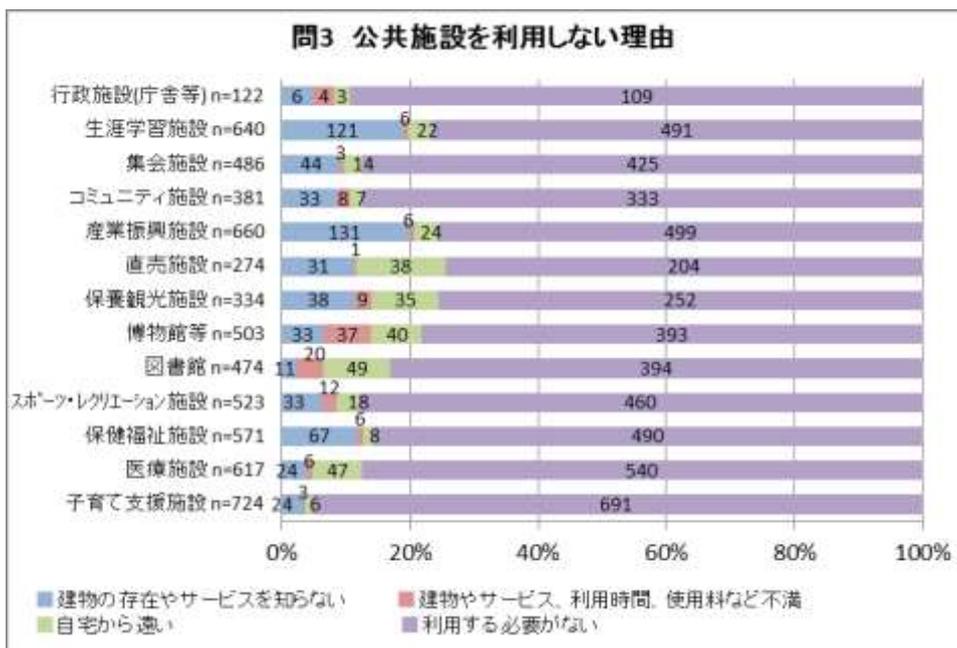
問2 公共施設	上段: 件数 下段: 割合(%) (無回答を除く 合計)	利用頻度					合計 (無回答含 む)
		週1回以上	月1回以上	年数回程度	利用なし	無回答	
行政施設(庁舎等)	842 100.0%	17 2.0%	66 7.8%	623 74.0%	136 16.2%	26 -	868 -
生涯学習施設	819 100.0%	8 1.0%	18 2.2%	138 16.8%	655 80.0%	49 -	868 -
集会施設	823 100.0%	10 1.2%	55 6.7%	259 31.5%	499 60.6%	45 -	868 -
コミュニティ施設	835 100.0%	19 2.3%	96 11.5%	331 39.6%	389 46.6%	33 -	868 -
産業振興施設	813 100.0%	9 1.1%	15 1.8%	108 13.3%	681 83.8%	55 -	868 -
直売施設	842 100.0%	45 5.3%	140 16.6%	376 44.7%	281 33.4%	26 -	868 -
保養観光施設	829 100.0%	22 2.7%	92 11.1%	373 45.0%	342 41.3%	39 -	868 -
博物館等	827 100.0%	5 0.6%	26 3.1%	274 33.1%	522 63.1%	41 -	868 -
図書館	827 100.0%	17 2.1%	120 14.5%	203 24.5%	487 58.9%	41 -	868 -
スポーツ・レクリエーション施設	829 100.0%	41 4.9%	41 4.9%	206 24.8%	541 65.3%	39 -	868 -
保健福祉施設	819 100.0%	6 0.7%	7 0.9%	215 26.3%	591 72.2%	49 -	868 -
医療施設	828 100.0%	7 0.8%	47 5.7%	148 17.9%	626 75.6%	40 -	868 -
子育て支援施設	824 100.0%	26 3.2%	19 2.3%	41 5.0%	738 89.6%	44 -	868 -



問3. 問2で「利用なし」と回答された施設についてお聞きします。その公共施設を利用していない理由を教えてください。(施設ごとに回答は1つ)

- ・全体的に「利用する必要がない」が高くなっており、すべての施設で7割以上となっています。
- ・生涯学習施設、産業振興施設、直売施設、保養観光施設、保健福祉施設では「建物の存在やサービスを知らない」が1～2割となっています。
- ・また、直売施設、保養観光施設、図書館では「自宅から遠い」が1割以上となっています。

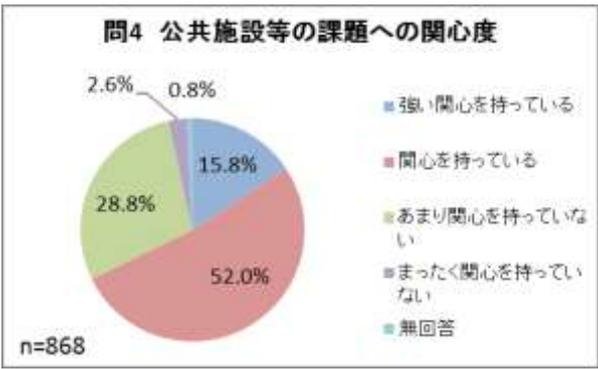
問3 公共施設	上段: 件数 下段: 割合(%) (無回答を除く 合計)	利用しない理由					合計 (無回答含む)
		施設の存在 やサービスを 知らない	建物やサー ビス、利用 時間、使用 料など不満	自宅から遠 い	利用する必 要がない	無回答	
行政施設(庁舎等)	122	6	4	3	109	14	136
	100.0%	4.9%	3.3%	2.5%	89.3%	-	
生涯学習施設	640	121	6	22	491	15	655
	100.0%	18.9%	0.9%	3.4%	76.7%	-	
集会施設	486	44	3	14	425	13	499
	100.0%	9.1%	0.6%	2.9%	87.4%	-	
コミュニティ施設	381	33	8	7	333	8	389
	100.0%	8.7%	2.1%	1.8%	87.4%	-	
産業振興施設	660	131	6	24	499	21	681
	100.0%	19.8%	0.9%	3.6%	75.6%	-	
直売施設	274	31	1	38	204	7	281
	100.0%	11.3%	0.4%	13.9%	74.5%	-	
保養観光施設	334	38	9	35	252	8	342
	100.0%	11.4%	2.7%	10.5%	75.4%	-	
博物館等	503	33	37	40	393	19	522
	100.0%	6.6%	7.4%	8.0%	78.1%	-	
図書館	474	11	20	49	394	13	487
	100.0%	2.3%	4.2%	10.3%	83.1%	-	
スポーツ・レクリエーション施設	523	33	12	18	460	18	541
	100.0%	6.3%	2.3%	3.4%	88.0%	-	
保健福祉施設	571	67	6	8	490	20	591
	100.0%	11.7%	1.1%	1.4%	85.8%	-	
医療施設	617	24	6	47	540	9	626
	100.0%	3.9%	1.0%	7.6%	87.5%	-	
子育て支援施設	724	24	3	6	691	14	738
	100.0%	3.3%	0.4%	0.8%	95.4%	-	



**問4. 将来的に公共施設やインフラ施設(道路、橋りょう、公園、上下水道等)の老朽化対策に必要な財源の確保が困難となりつつありますが、あなたはこのことについてどの程度関心をお持ちですか？(回答は1つ)**

・公共施設やインフラ施設の課題については7割が関心を持っており、「強く関心を持っている」が15.8%、「関心を持っている」が52.0%となっています。  
 ・一方、「あまり関心を持っていない」は28.8%、「まったく関心を持っていない」は2.6%となっています。

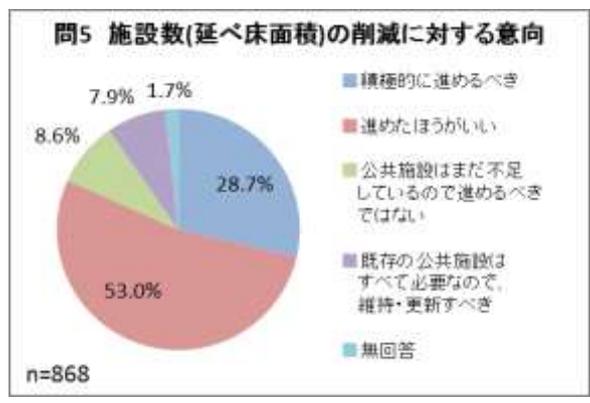
問4 公共施設等の課題への関心度	件数	割合(%)
強い関心を持っている	137	15.8%
関心を持っている	451	52.0%
あまり関心を持っていない	250	28.8%
まったく関心を持っていない	23	2.6%
無回答	7	0.8%
合計	868	100.0%



**問5. 酒田市では公共施設のサービスの向上を図りながら、施設数(延べ床面積)の削減を検討しています。そのことについてどう思いますか？(回答は1つ)**

・公共施設の施設数(延べ床面積)の削減については8割が賛成しており、「積極的に進めるべき」が28.7%、「進めたほうがいい」が53.0%と高くなっています。  
 ・一方、「公共施設はまだ不足しているので進めるべきではない」は8.6%、「既存の公共施設はすべて必要なので、維持・更新すべき」は7.9%となっています。

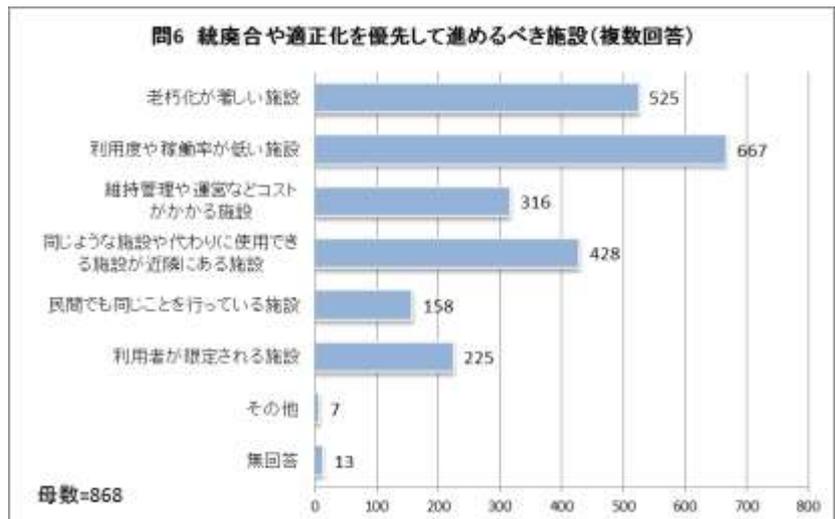
問5 施設数(延べ床面積)の削減に対する意向	件数	割合(%)
積極的に進めるべき	249	28.7%
進めたほうがいい	460	53.0%
公共施設はまだ不足しているので進めるべきではない	75	8.6%
既存の公共施設はすべて必要なので、維持・更新すべき	69	7.9%
無回答	15	1.7%
合計	868	100.0%



**問 6. 公共施設の統廃合や適正化を検討する場合、どのような施設から進めるべきと考えますか？(3  
つまで回答可。その他の場合はカッコ内に自由にご記入ください)**

・公共施設の統廃合や適正化を優先的に検討する施設は、「利用率や稼働率が低い(あまり利用されていない)施設」が 76.8%と最も高くなっています。次いで、「老朽化が著しい施設」が 60.5%、「同じような施設の代わりに使用できる施設が近隣にある施設」が 49.3%と高くなっています。  
 ・一方、「民間でも同じこと(事業)を行っている施設」が 18.2%と最も低くなっています。

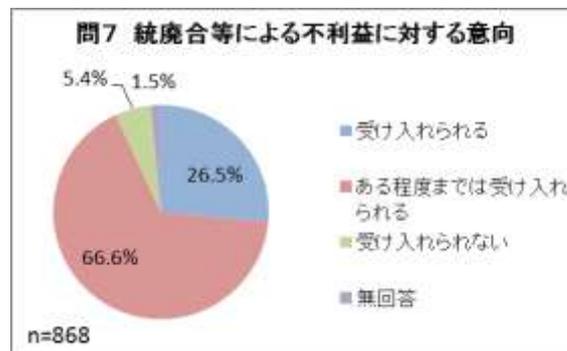
問6 統廃合や適正化を優先して進めるべき施設	件数	割合(%)
老朽化が著しい施設	525	60.5%
利用率や稼働率が低い(あまり利用されていない)施設	667	76.8%
維持管理や運営などコストがかかる施設	316	36.4%
同じような施設や代わりに使用できる施設が近隣にある施設	428	49.3%
民間でも同じこと(事業)を行っている施設	158	18.2%
利用者が限定される施設	225	25.9%
その他	7	0.8%
無回答	13	1.5%
回答者母数	868	100.0%



**問 7. 統廃合等を進めると、施設が遠くなったり、今まで利用できた施設がなくなる場合もあります。このことについてどう考えますか。(回答は1つ)**

・公共施設の統廃合による不利益については、「ある程度受け入れられる」が 66.6%と最も高くなっており、次いで「受け入れられる」が 26.5%となっています。  
 ・一方「受け入れられない」は 5.4%となっています。

問7 統廃合等による不利益に対する意向	件数	割合(%)
受け入れられる	230	26.5%
ある程度までは受け入れられる	578	66.6%
受け入れられない	47	5.4%
無回答	13	1.5%
合計	868	100.0%

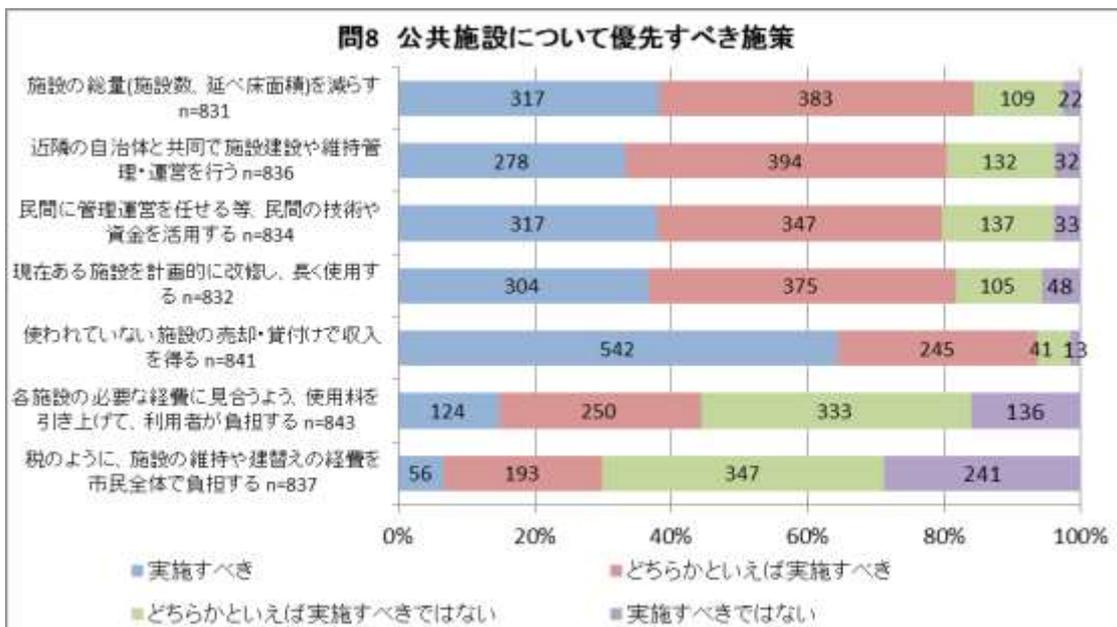


問 8. 公共施設の運営コスト削減や、修繕・更新のための財源確保に向け、どのような施策を優先して進めるべきだと思いますか。(それぞれに回答は1つ)

・公共施設について今後優先すべき施策について、「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計では「使われていない施設の売却・貸付で収入を得る」が 93.5%と最も高く、次いで「施設総量を減らす」(84.2%)、「現在ある施設を計画的に回収し、長く使用する」(81.6%)の順で高くなっています。

・一方「実施すべきでない」、「どちらかといえば実施すべきでない」の合計では、「税のように、施設の維持や建替えの経費を市民全体で負担する」が 70.3%と最も高く、次いで、「各施設の必要な経費に見合うよう、使用料を引き上げて、利用者が負担する」が 55.6%となっています。

問8 公共施設の施策	上段:件数 下段:割合(% (無回答を除く 合計)	優先度					合計 (無回答含 む)
		実施すべき	どちらかとい えば実施す べき	どちらかとい えば実施す べきではな い	実施すべき ではない	無回答	
施設の総量(施設数、延べ 床面積)を減らす	831	317	383	109	22	37	868
	100.0%	38.1%	46.1%	13.1%	2.6%	-	-
近隣の自治体と共同で施設建設や維持管理・運営 を行う	836	278	394	132	32	32	868
	100.0%	33.3%	47.1%	15.8%	3.8%	-	-
民間に管理運営を任せる等、民間の技術や資金を 活用する	834	317	347	137	33	34	868
	100.0%	38.0%	41.6%	16.4%	4.0%	-	-
現在ある施設を計画的に 改修し、長く使用する	832	304	375	105	48	36	868
	100.0%	36.5%	45.1%	12.6%	5.8%	-	-
使われていない施設の売却・貸付 けで収入を得る	841	542	245	41	13	27	868
	100.0%	64.4%	29.1%	4.9%	1.5%	-	-
各施設の必要な経費に見 合うよう、使用料を引き上 げて、利用者が負担する	843	124	250	333	136	25	868
	100.0%	14.7%	29.7%	39.5%	16.1%	-	-
税のように、施設の維持や 建替えの経費を市民全体 で負担する	837	56	193	347	241	31	868
	100.0%	6.7%	23.1%	41.5%	28.8%	-	-

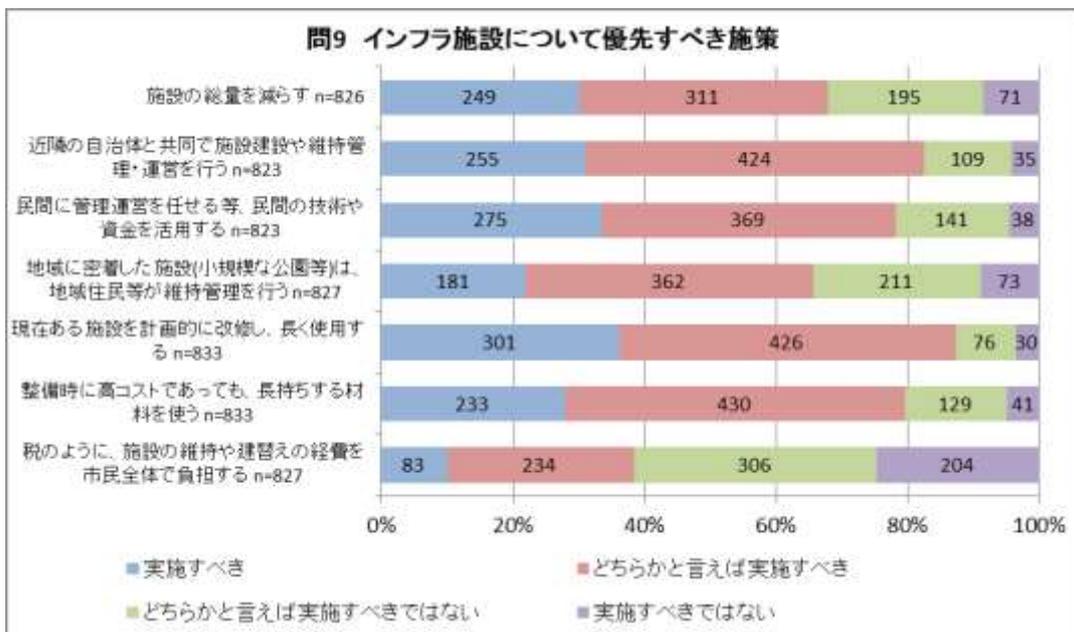


問9. インフラ施設(道路、橋りょう、公園、上下水道等)の運営コスト削減や、修繕・更新のための財  
源確保に向け、どのような施策を優先して進めるべきだと思いますか。(それぞれに回答は1つ)

・インフラ施設について今後優先すべき施策について、「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計では、「現在ある施設を計画的に改修し、長く使用する」が87.2%と最も高く、次いで「近隣の自治体と共同で施設建設や維持管理・運営を行う」(82.5%)、「整備時に高コストであっても、長持ちする材料を使う」(79.6%)の順で高くなっています。

・一方「実施すべきでない」「どちらかといえば実施すべきでない」の合計では、「税のように、施設の維持や建替えの経費を市民全体で負担する」が61.7%となっています。

問9 インフラ施設の施策	上段: 件数 下段: 割合(%) (無回答を除く 合計)	優先度					合計 (無回答含 む)
		実施すべき	どちらかとい えば実施す べき	どちらかとい えば実施す べきではな い	実施すべき ではない	無回答	
施設の総量を減らす	826	249	311	195	71	42	868
	100.0%	30.1%	37.7%	23.6%	8.6%	-	-
近隣の自治体と共同で施設建設や維持管理・運営を行う	823	255	424	109	35	45	868
	100.0%	31.0%	51.5%	13.2%	4.3%	-	-
民間に管理運営を任せる等、民間の技術や資金を活用する	823	275	369	141	38	45	868
	100.0%	33.4%	44.8%	17.1%	4.6%	-	-
地域に密着した施設(小規模な公園等)は、地域住民等が維持管理を行う	827	181	362	211	73	41	868
	100.0%	21.9%	43.8%	25.5%	8.8%	-	-
現在ある施設を計画的に改修し、長く使用する	833	301	426	76	30	35	868
	100.0%	36.1%	51.1%	9.1%	3.6%	-	-
整備時に高コストであっても、長持ちする材料を使う	833	233	430	129	41	35	868
	100.0%	28.0%	51.6%	15.5%	4.9%	-	-
税のように、施設の維持や建替えの経費を市民全体で負担する	827	83	234	306	204	41	868
	100.0%	10.0%	28.3%	37.0%	24.7%	-	-



問 10. 今後、市の財政が厳しくなるなか、これからの酒田市で優先的に維持・充実していくべき公共施設は何だと思えますか？(3 つまで回答可)

・「優先的に維持・充実すべき施設」としては、「医療施設」が 432 件(49.8%)と最も高く、次いで、「子育て支援施設」(343 件(39.5%))、「保育園」(259 件(29.8%))の順で高くなっています。  
 ・一方「生涯学習施設」と「市営住宅」は両方とも 48 件(5.5%)となっています。

問10 優先的に維持・充実すべき施設	件数	割合(%)
行政施設(市役所、支所・出張所)	206	23.7%
生涯学習施設	48	5.5%
集会施設、コミュニティ施設(中央公民館、各地区コミュニティセンターなど)	203	23.4%
産業系施設(産直など)	122	14.1%
保養観光施設	132	15.2%
文化施設(図書館、資料館、美術館)	161	18.5%
スポーツ・レクリエーション施設	174	20.0%
保健・福祉施設(福祉センター、保健センターなど)	240	27.6%
医療施設	432	49.8%
保育園	259	29.8%
子育て支援施設(学童保育、子育て支援センターなど)	343	39.5%
市営住宅	48	5.5%
その他	22	2.5%
無回答	27	3.1%
回答者母数	868	100.0%

